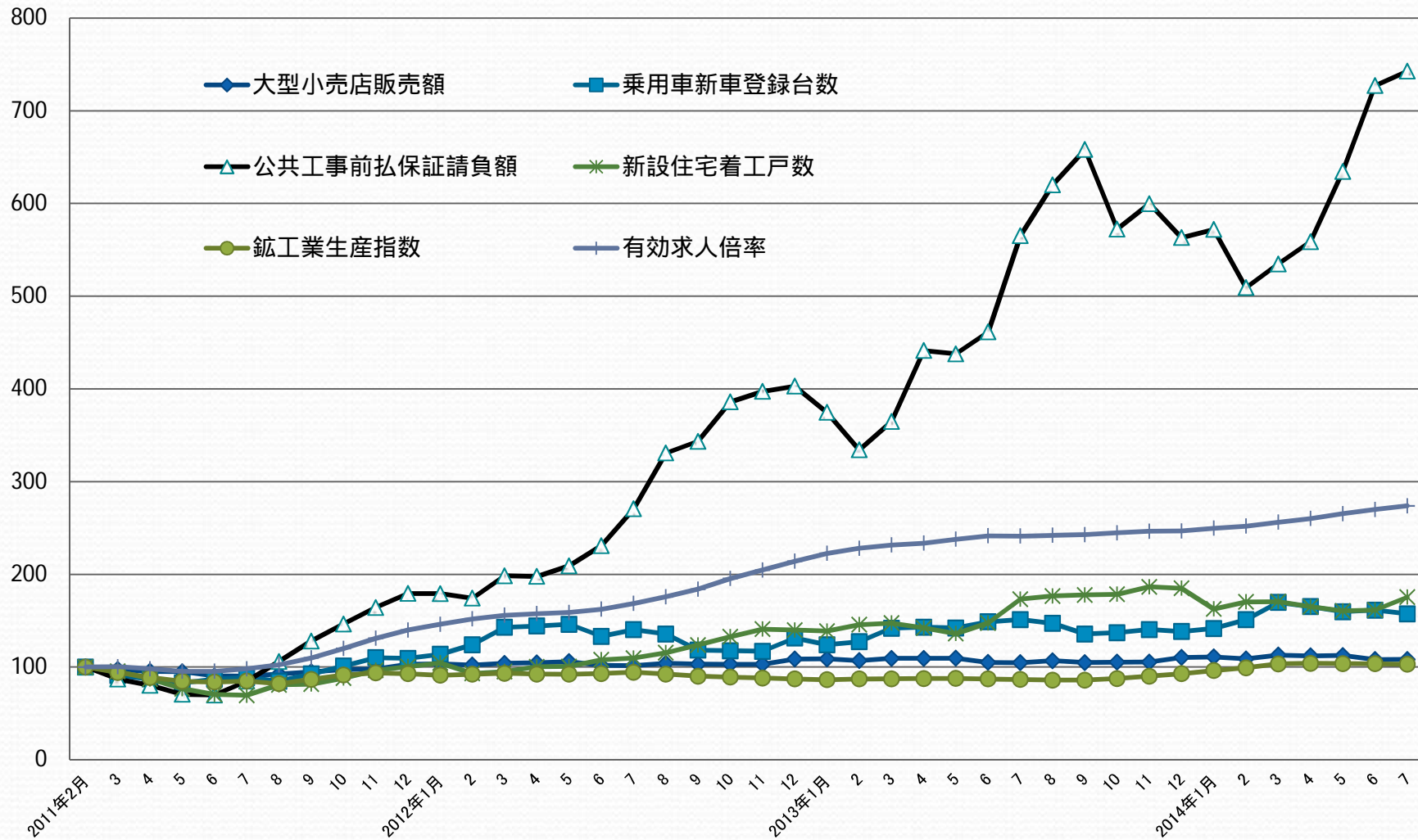


震災復興に向けた取り組みについて ～福島からの報告

福島経済同友会

経済の動向

震災後の福島県経済の動向



資料：とうほう地域総合研究所

注：上記データは、各月の6カ月後方移動平均値を算出し、2011年2月を100として指数化。雇用保険受給者実人員は実データの逆数。

避難の現状と課題

- 福島県全体の避難者数 約12.7万人
 - 帰還困難区域 約2.5万人
 - 居住制限区域 約2.3万人
 - 避難指示解除準備区域 約3.2万人
 - その他地域(自主避難含む) 約4.7万人
- 福島県内への避難者数 約8.1万人
- 県外への避難者数 約4.5万人
- 避難指示解除の動き
 - 26年4月田村市都路地区・26年10月川内村(帰還者は一部にとどまる)
 - インフラ復旧等課題が残る
 - 帰還を望まない住民等への支援策

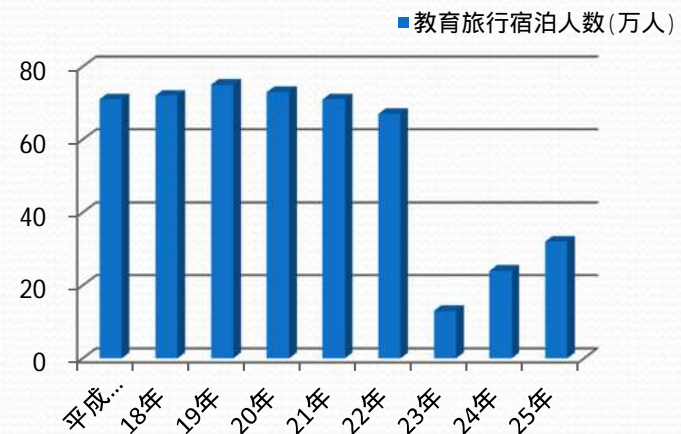
観光の現状と課題

- 福島観光客は戻っていない！
 - 特に修学旅行(会津)
- 東北六魂祭、日本陸上競技選手権大会、B1グランプリ等々イベント開催は効果的
- 平成27年4月から6月に「福が満開、福のしま。」デスティネーションキャンペーンにける期待は大きい
 - 26年4月から6月にプレDC実施。県をあげて推進
- 震災以降実施された東北・新潟DCの集大成と位置づけ
 - 23年 青森、24年 岩手、25年 宮城・秋田、26年 新潟・山形

観光客入込数



教育旅行宿泊人数



イノベーション・コースト構想

- 「福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想
~ 26年6月報告書
- コンセプト
 - イノベーションによる産業基盤の再構築
 - 帰還住民と新住民による広域のまちづくり
 - 地域の再生モデル
- 主要プロジェクト
 - 国際廃炉研究開発拠点
 - ロボット開発・実証拠点
 - 国際産学連携拠点
 - 新たな産業集積
 - インフラ整備
- 実現に向けて
 - 戦略的工程の早期決定(短期・2020年までの中期・以降の長期)
 - 広域開発のフレーム策定(エリアとしての開発計画)
 - 国家・県の支援体制確立
- 始まったばかりの構想だが、避難地域の問題解決にもつながり、実現に向け積極的な働きかけを行っていきたい。